



アーツカウンシル東京×三井不動産 東京子ども芸術文化プラットフォーム「TOKYOカルチャーデビュー」イベント開催 子どもたちへ文化体験を届ける新たな取り組みを実施

本レターのポイント

- ・三井不動産と行政が連携、場の提供から文化体験の創出までを一体で推進し社会的価値を創出
- ・子どもたちへ多様な文化体験を提供することを目的とした東京都施策「TOKYOカルチャーデビュー」のイベント「らくがきダンボールワークショップ」を、東京ミッドタウン(六本木・日比谷・八重洲)と日本橋で開催

三井不動産株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:植田俊、以下「三井不動産」)は、あらゆる子どもたちへ芸術文化体験の機会を提供することを目的に、東京都・公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京が推進する「東京子ども芸術文化プラットフォーム「TOKYOカルチャーデビュー」」への賛同をしております。

本取り組みは、東京都が推進する東京子ども芸術文化プラットフォーム「TOKYOカルチャーデビュー」との連携により、社会全体で次世代の感性や創造性を育む機会創出を目指すものです。この度、公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京とともに4月11・12・18・19日に東京ミッドタウン(六本木・日比谷・八重洲)および日本橋にて「らくがきダンボールワークショップ」を開催。ワークショップで制作したピースをアーティスト 門秀彦さんが繋ぎ合わせ、子どもたちの個性が集結した巨大なアート作品を制作、5月2日から5月10日まで東京ミッドタウン日比谷で展示いたします。(共催:東京都)

三井不動産は、産業デベロッパーとして、街づくりを通じて多様な人々が集い、文化交流が生まれる「場」の創出に取り組んできました。本取り組みにおいても、東京ミッドタウンや日本橋といった拠点を活用し、行政やアーティストと連携することで、子どもたちに芸術文化体験の機会を提供するとともに、誰もが豊かな体験を享受できる街づくりを推進してまいります。



■らくがきダンボールワークショップについて

親子で訪れやすい身近な商業施設にて、子どもたちとアーティストが共にアート作品を創作するワークショップを開催します。会場に並ぶ大きな段ボールをキャンバスに、アーティストの門秀彦氏と一緒にクレヨンで色や形を描きます。後日、それらのピースを門氏が繋ぎあわせ、子どもたちの個性が集結した巨大アート作品を完成させます。アーティストとの対話や共同制作を通じて子どもたちが表現することの楽しさや驚き・発見に出会える機会を提供します。

<ワークショップ(全5回実施)>

①②2026年4月11日(土) 11:00~12:30、14:00~15:30

会場:東京ミッドタウン日比谷 地下広場(B1F) 東京都千代田区有楽町 1-1-2

③2026年4月12日(日) 14:00~15:30

会場:日本橋三井タワー アトリウム(1F) 東京都中央区日本橋室町 2-1-1

④2026年4月18日(土) 14:00~15:30

会場:東京ミッドタウン(六本木) ガレリア(2F)共用部 東京都港区赤坂 9-7-1

⑤2026年4月19日(日) 14:00~15:30

会場:東京ミッドタウン八重洲 アトリウム(1F) 東京都中央区八重洲 2-2-1

お申込みはこちら

- ・対象:4歳~小学6年生
- ・定員:各回25名(予定)
- ・料金:無料
- ・参加方法:WEBでの事前申込制(先着順) ※空きがある場合は当日参加可



参加アーティスト:門秀彦
イラストレーター、デザイナー

ろう者の両親をもつコーダであり、音声言語や手話では伝えきれない思いを表現するため、幼少期から絵を描き始める。現在は「TALKING HANDS」をコンセプトに展開。手話をモチーフにした作品は「手話アート」と呼ばれる。NHKでのアニメーション、キットカットのパッケージ、スターバックスコーヒーの店内アート、ホテルルームプロデュースを手掛けるなど活動が多岐に渡る。

<作品展示>

公開期間:2026年5月2日(土)~10日(日)※施設の開放時間に準ずる

会場:東京ミッドタウン日比谷 地下通路(B1F) 東京都千代田区有楽町 1-1-2

料金:無料

【主催】三井不動産株式会社、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

【共催】東京都

【後援】千代田区、中央区、港区

■(参考) 東京子ども芸術文化プラットフォーム「TOKYO カルチャーデビュー」について

「TOKYO カルチャーデビュー」は、東京都および公益財団法人東京都歴史文化財団が推進する、子どもたちに多様な文化芸術体験を届けるための新たなプラットフォームです。

美術・音楽・演劇・伝統芸能など多様なジャンルにおいて、子ども自らが創作や表現に参加できる機会を創出し、年間5万人への体験提供を目標としています。

本プラットフォームでは、企業・文化団体・教育機関・自治体等が連携し、これまで芸術文化に触れる機会が少なかった子どもたちも含め、誰もが文化体験にアクセスできる環境の実現を目指します。

<https://www.artscouncil-tokyo.jp/tokyo-culturedebut/>



「©飯田耕治」



東京ミッドタウンについて



東京ミッドタウンは、広大なグリーンと6つの建物からなる複合都市です。街にはさまざまなショップやレストラン、オフィス、ホテル、緑地、美術館などの施設が集まっています。四季を感じるイベントで季節に寄り添い、いたるところに息づくデザイン・アートや「TOKYO MIDTOWN AWARD」が発掘した若き才能にふれて新たな発見を。そして街に根づくおもてなしで心が解きほぐされていく。それらを融合させることで訪れた人に、上質で心地よい場所と時間を提供することを目指しています。

<https://www.tokyo-midtown.com/jp/about/>

東京ミッドタウン日比谷について



東京ミッドタウン日比谷は、オフィス、ショップ、レストラン、映画館などの施設が集まった複合施設です。映画・演劇の街として知られる日比谷エリアの上質な文化や、日比谷公園が隣接する自然豊かな環境を活かし、未来志向の新たな体験や、お客様の感性を刺激する新たな価値の提供を目指しています。

<https://www.hibiya.tokyo-midtown.com/jp/about/>

東京ミッドタウン八重洲について



日本全国につながる東京駅に直結し、さまざまなショップやレストラン、オフィス、ホテル、バスターミナル、小学校などが集まるミクストユース型の施設です。六本木、日比谷に続く東京ミッドタウンブランドとして、その価値を受け継ぎながら、日本の玄関口「東京・八重洲」という土地だからこそその施設コンセプト「ジャパン・プレゼンテーション・フィールド～日本の夢が集う街。世界の夢に育つ街～」を掲げ、世界中・日本中から人や情報、モノ・コトが集まり、交わり、新しい価値を生み出し、世界に向けて発信していく街づくりを目指しています。<https://www.yaesu.tokyo-midtown.com/about>

三井不動産の「日本橋再生計画」について

三井不動産では「残しながら、蘇らせながら、創っていく」を開発コンセプトに、官民地域一体となった「日本橋再生計画」を推進しています。「産業創造」「界限創生」「地域共生」「水都再生」の4つのキーワードに基づいたハードとソフトの融合した街づくりを通して、賑わいの再生に取り組んでまいりました。2019年には「日本橋再生計画第3ステージ」を発表し、「共感・共創・共発」の考え方のもと、「豊かな水辺の再生」「新たな産業の創造」「世界とつながる国際イベントの開催」の3つを重点構想として推進し、「未来に続く街道の起点、日本橋」というビジョンを実現するための街づくりを推進していきます。

■日本橋再生計画ビジョンについて

「未来に続く街道の起点、日本橋」

江戸時代の日本橋は、五街道の起点として、日本全国から人・もの・ことが集まり、それらの交流によって新たな産業や文化を生み出した非常にイノベーティブな街でした。そのような中心性ある街を、現代においては世界を舞台に再現したいと思います。世界中から仲間を集め、交流し、未来に向けた新しい価値を、世界に向けて発信していく。その起点となる街を、私たちは目指していきます。

<https://www.mitsuifudosan.co.jp/business/development/nihonbashi/>

三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。2024年4月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】

- ・「グループ長期経営方針」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>
- ・「グループマテリアリティ」 https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality

＜本件に関するお問い合わせ先＞
三井不動産株式会社 広報部 TEL:03-3246-3155